



DIGITAL HEARTS HDGS.



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社デジタルハーツホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3676 URL https://www.digitalhearts-hd.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)玉塚 元一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 CFO (氏名)筑紫 敏矢 (TEL)03(3373)0081
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,393	11.1	1,241	△19.9	1,233	△21.3	847	△15.5
30年3月期第3四半期	12,960	11.6	1,551	10.7	1,567	7.4	1,003	20.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,210百万円(24.7%) 30年3月期第3四半期 971百万円(17.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第3四半期	38.82		37.40	
30年3月期第3四半期	46.11		44.42	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,364		4,636		47.3	
30年3月期	8,575		3,570		39.3	

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 4,425百万円 30年3月期 3,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
30年3月期	—	5.50	—	6.00	—	11.50
31年3月期	—	6.50	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	6.50	—	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	21,000	21.0	2,200	26.7	2,224	24.8	1,533	27.7	70.34	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)株式会社エイネット、除外 1社 (社名)EVO Japan 実行委員会有限責任事業組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期3Q	23,890,800株	30年3月期	23,890,800株
② 期末自己株式数	2,016,206株	30年3月期	2,097,422株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	21,833,838株	30年3月期3Q	21,758,315株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	平成30年3月期 第3四半期 (千円)	平成31年3月期 第3四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
売上高	12,960,074	14,393,333	11.1
営業利益	1,551,116	1,241,740	△19.9
経常利益	1,567,197	1,233,072	△21.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003,312	847,573	△15.5

当社グループを取り巻くデジタル関連市場においては、インターネット環境の飛躍的な進展やスマートデバイスの普及拡大等を背景に、コンテンツやサービスの多様化が急速に進んでいます。その一方、各企業においては、その開発及び運営を支えるIT人材が慢性的に不足していることから、ソフトウェアの開発・テスト・プロモーション等の支援サービスを提供している当社グループの収益機会は、今後も引き続き拡大するものと見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループでは、「アジアNo.1の総合テスト・ソリューションカンパニー」となることを目指し、主力のエンターテインメント事業においては、デバッグサービスを中心に競争優位性のさらなる向上に努めるとともに、成長分野として位置付けるエンタープライズ事業においては、システムテストサービスを中心に、第二の収益の柱に育てるべく、事業拡大を推進しております。

当第3四半期連結累計期間においては、エンタープライズ事業のITサービス・セキュリティサービスが前年同四半期比2.5倍以上の成長を実現するなど、好調に推移したことにより、売上高14,393,333千円(前年同四半期比11.1%増)となりました。一方、利益につきましては、エンタープライズ事業において実施した人材をはじめとする積極的な先行投資やエンターテインメント事業におけるアミューズメント機器向けのデバッグサービスの大幅な減収等の影響により、営業利益は1,241,740千円(前年同四半期比19.9%減)、経常利益は1,233,072千円(前年同四半期比21.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は847,573千円(前年同四半期比15.5%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

	平成30年3月期 第3四半期 (千円)	平成31年3月期 第3四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
売上高	12,960,074	14,393,333	11.1
エンターテインメント事業	11,870,748	12,074,312	1.7
エンタープライズ事業	1,197,360	2,319,118	93.7
調整額	△108,035	△97	—
営業利益又は営業損失	1,551,116	1,241,740	△19.9
エンターテインメント事業	2,523,064	2,351,875	△6.8
エンタープライズ事業	△75,550	△195,758	—
調整額	△896,397	△914,376	—

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益又は損失は営業利益ベースとなっております。

① エンターテインメント事業

当セグメントでは、主に、コンソールゲーム、モバイルゲーム、アミューズメント機器のデバッグ、ゲームの受託開発、プロモーション活動支援等のサービスを提供しております。

エンターテインメント事業におけるサービス別の売上高は以下のとおりであります。

	平成30年3月期 第3四半期 (千円)	平成31年3月期 第3四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
デバッグ	10,202,587	9,886,763	△3.1
クリエイティブ	1,233,019	1,495,397	21.3
メディア及びその他	435,141	692,151	59.1
エンターテインメント事業 合計	11,870,748	12,074,312	1.7

(i) デバッグ

デバッグサービスでは、主に、コンソールゲーム、モバイルゲーム、アミューズメント機器を対象に、ソフトウェアの不具合をユーザー目線で検出し顧客企業に報告するサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、モバイルゲーム向けのサービスにおいて、顧客ニーズにきめ細やかに対応した付加価値の高いサービスの提供に注力することで、引き続き運営フェーズを中心に増加するデバッグ需要を確実に獲得し、大幅な増収を達成致しました。その一方、アミューズメント機器向けのサービスにおいては、平成30年2月に施行された規制強化の影響により、引き続き厳しい受注環境が続いたことから、大幅に減少致しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のデバッグサービスの売上高は9,886,763千円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

(ii) クリエイティブ

クリエイティブサービスでは、ゲーム開発や2D/3Dグラフィック制作等、コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる制作サポートサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、技術力の高い人材の確保・育成に注力し、サービス品質の向上に努めた結果、継続的なゲーム開発案件に加え、新規案件の獲得が順調に進みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のクリエイティブサービスの売上高は1,495,397千円(前年同四半期比21.3%増)となりました。

(iii) メディア及びその他

メディア及びその他のサービスでは、日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営やカスタマーサポートサービス等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、主に「4Gamer.net」において、独自取材による付加価値の高い情報のスピーディな配信に努め、メディアとしての価値の向上を図って参りました。また、前期より新たに開始したカスタマーサポートサービスでは、順調に案件を獲得し、好調に推移致しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のメディア及びその他サービスの売上高は692,151千円(前年同四半期比59.1%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエンターテインメント事業の売上高は、12,074,312千円(前年同四半期比1.7%増)となりました。セグメント利益は、主にアミューズメント機器向けのデバッグサービスの大幅な減収の影響を受け、2,351,875千円(前年同四半期比6.8%減)となりました。

② エンタープライズ事業

当セグメントでは、主に、エンタープライズシステムを対象とするシステムテスト及び受託開発サービスや、ITサポート、セキュリティ等のサービスを提供しております。

エンタープライズ事業におけるサービス別の売上高は以下のとおりであります。

	平成30年3月期 第3四半期 (千円)	平成31年3月期 第3四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
システムテスト	642,938	911,940	41.8
ITサービス・セキュリティ	554,422	1,407,177	153.8
エンタープライズ事業 合計	1,197,360	2,319,118	93.7

(i) システムテスト

システムテストサービスでは、主に、エンタープライズシステムの不具合を検出するサービスを提供してござ

す。

当第3四半期連結累計期間は、顧客ニーズを的確に捉えたサービスの拡充を図るとともに、積極的な営業活動を展開することで、新規顧客の開拓及び既存顧客との取引拡大を実現致しました。また、新規案件の獲得に必要な不可欠である、テストの要件定義や設計が出来る「上流エンジニア」の確保を目的に、業界スペシャリストの採用強化や医療系システムのテストに強い株式会社エィネットの子会社化等を図って参りました。さらに、他社とのアライアンスを活用した教育プログラムの充実化や日本におけるソフトウェアテスト技術者資格である「Japan Software Testing Qualifications Board(略称：JSTQB)」取得に向けた社内プログラムを新設するなど、当社グループに在籍する約8,000名のテスターの中から上流エンジニアを育成するための社内体制の整備を推進して参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のシステムテストサービスの売上高は911,940千円(前年同四半期比41.8%増)と大幅な増収を達成致しました。

(ii) ITサービス・セキュリティ

ITサービス・セキュリティサービスでは、システムの受託開発やITサポート、セキュリティ等のサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、他社とのアライアンスも積極的に活用し、社内システムの構築から保守・運用まで総合的にサポートできる体制の強化を図って参りました。さらに、システムテストと親和性の高いセキュリティ事業に本格参入し、人工知能等の技術を活用した新たなサービスの拡充や、専門人材によるセキュリティ監視チームを立ち上げるなど、今後の事業拡大に向けた取り組みを推進して参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のITサービス・セキュリティサービスの売上高は1,407,177千円(前年同四半期比153.8%増)と好調に推移致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエンタープライズ事業の売上高は、2,319,118千円(前年同四半期比93.7%増)と前年同四半期比約2倍となる大幅な増収を達成致しました。セグメント利益は、専門人材をはじめとする積極的な投資を実施したことにより、△195,758千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は6,691,608千円となり、前連結会計年度末における流動資産6,732,753千円に対し、41,145千円の減少(前期比0.6%減)となりました。

これは、主として現金及び預金が144,072千円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は2,673,164千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,842,533千円に対し、830,631千円の増加(前期比45.1%増)となりました。

これは、主として、のれんが276,374千円増加したことと投資有価証券が493,679千円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は3,610,207千円となり、前連結会計年度末における流動負債3,929,183千円に対し、318,975千円の減少(前期比8.1%減)となりました。

固定負債の残高は1,117,778千円となり、前連結会計年度末における固定負債1,075,971千円に対し、41,807千円の増加(前期比3.9%増)となりました。

(純資産)

純資産の残高は4,636,787千円となり、前連結会計年度末における純資産3,570,132千円に対し、1,066,655千円の増加(前期比29.9%増)となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が847,573千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点において平成30年5月11日付けで「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,894,356	3,750,284
受取手形及び売掛金	2,480,648	2,506,938
たな卸資産	14,924	39,609
その他	357,228	419,421
貸倒引当金	△14,404	△24,644
流動資産合計	6,732,753	6,691,608
固定資産		
有形固定資産	473,564	458,815
無形固定資産		
のれん	150,368	426,743
その他	136,486	195,183
無形固定資産合計	286,854	621,926
投資その他の資産		
投資有価証券	268,293	761,972
その他	814,095	841,004
貸倒引当金	△274	△10,554
投資その他の資産合計	1,082,114	1,592,422
固定資産合計	1,842,533	2,673,164
資産合計	8,575,286	9,364,773
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,600,000	1,700,000
未払費用	986,180	825,632
未払法人税等	259,408	171,528
賞与引当金	64,227	74,115
その他	1,019,367	838,930
流動負債合計	3,929,183	3,610,207
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,017,200	1,017,200
その他	58,771	100,578
固定負債合計	1,075,971	1,117,778
負債合計	5,005,154	4,727,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	331,729	366,598
利益剰余金	5,113,524	5,680,404
自己株式	△2,405,036	△2,311,908
株主資本合計	3,340,904	4,035,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,679	363,173
為替換算調整勘定	25,972	26,610
その他の包括利益累計額合計	28,652	389,783
新株予約権	—	13,363
非支配株主持分	200,575	197,859
純資産合計	3,570,132	4,636,787
負債純資産合計	8,575,286	9,364,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	12,960,074	14,393,333
売上原価	9,085,995	10,284,186
売上総利益	3,874,078	4,109,146
販売費及び一般管理費	2,322,962	2,867,406
営業利益	1,551,116	1,241,740
営業外収益		
受取利息	469	67
受取配当金	15	15
投資事業組合運用益	5,952	1,335
為替差益	-	1,500
持分法による投資利益	2,279	-
助成金収入	7,669	24,050
その他	11,243	10,029
営業外収益合計	27,629	36,998
営業外費用		
支払利息	2,247	2,138
為替差損	957	-
自己株式取得費用	6,239	-
支払手数料	-	12,947
和解金	-	24,041
持分法による投資損失	-	4,377
その他	2,104	2,160
営業外費用合計	11,548	45,666
経常利益	1,567,197	1,233,072
特別利益		
固定資産売却益	2,112	-
投資有価証券売却益	-	30,634
特別利益合計	2,112	30,634
特別損失		
事務所移転費用	-	8,492
事業整理損	24,988	-
本社移転費用	25,806	-
投資有価証券評価損	97,312	-
事業撤退損	-	43,108
特別損失合計	148,107	51,600
税金等調整前四半期純利益	1,421,201	1,212,106
法人税、住民税及び事業税	468,844	404,440
法人税等調整額	△28,868	△42,412
法人税等合計	439,976	362,028
四半期純利益	981,224	850,077
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,087	2,503
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,003,312	847,573

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	981,224	850,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,392	360,493
為替換算調整勘定	△7,586	376
その他の包括利益合計	△9,979	360,869
四半期包括利益	971,245	1,210,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	996,452	1,208,705
非支配株主に係る四半期包括利益	△25,206	2,242

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成30年7月20日開催の取締役会において、当社の取締役等に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を81,216株処分することを決議し、実施致しました。自己株式が93,127千円減少し、資本剰余金が34,869千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の残高は、資本剰余金366,598千円、自己株式2,311,908千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年12月21日開催の取締役会において、平成28年6月9日に発行致しました第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部繰上償還の決議を行い、平成31年1月7日に実行致しました。

- | | |
|--------------|---------------------|
| (1)繰上償還した銘柄 | 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債 |
| (2)繰上償還額 | 508,600,000円 |
| (3)繰上償還金額 | 額面100円につき101円50銭 |
| (4)繰上償還日 | 平成31年1月7日 |
| (5)償還資金の調達方法 | 全額自己資金により償還 |